

●主な記事●

- 2頁 北信越医療活動交流集会
- 3頁 症例検討会の報告
- 4頁 食べ歩き会(ルビーナ)の報告
- 5頁 老後問題を考える懇談会

石川保険医新聞

発行所
 石川県保険医協会
 金沢市尾張町1丁目9番11号
 〒920 尾張町レジデンス2F
 電話 (0762) 22-5373番
 発行人 後藤田博之
 印刷所 ユーアイ印刷
 (会費月額 3,800円)

第1回加賀地区会員懇談会

さまざまな提案、要望が今後の協会活動の糧に



始めて開かれた加賀地区会員懇談会。—6月4日—

六月四日(土)、午後六時半から加賀市市民会館にて、加賀地区会員懇談会を開催しました。加賀地区から六人、協会執行部から四人が出席し、約二時間半にわたって診療報酬の問題点など、

六月四日(土)、午後六時半から加賀市市民会館にて、加賀地区会員懇談会を開催しました。加賀地区から六人、協会執行部から四人が出席し、約二時間半にわたって診療報酬の問題点など、保険医協会の今後の活動方針について具体的な話題で懇談が行われました。保険医協会の重点課題の一つである「全県的な活動」をすすめていく上で、各地の先生方との交流は不可欠で、これまで毎年、小松および輪島鳳至地区で、それぞれ会員懇談会を開いてきました。

そしてこのたび加賀地区においても、地元会員の先生方のご協力で始めて会員懇談会が実現されました。最初に当日司会を務めた高松理事から、五月十四日に行われた保険医協会第十四回定期総会で決定した一九八八年度の活動方針について説明があり、これらの活動方針を具体化するため、ぜひ、貴重なご意見を拝聴したいとのあいさつがありました。

協会を代表してあいさつに立った後藤田会長は「第一線で活躍する開業医の団体として、経営を守り、地域医療の充実を図る運動は、一致団結のもとで展開されねばならない。国民の医療を守り、改善するためには、我々医師が中心となり、国民を指導する立場に立たねばならない。保険医協会は、国民の医療と福祉を守るための発言と行動を行っていくものである」と力強く抱負を述べました。

つづいて参加者全員が自己紹介をしたあと、能登理事から、四月に改定された診療報酬の特に複雑な問題となるところの説明が約二十分行われ、参加者から出された質問にも丁寧に回答されました。そのあと行われたフリー・インタビューでは、平松副会長から当日の印象記が届いていますのでご紹介いたします。

協会活動の大切さを再認識

輪島地区、小松地区では数回行われており、かねてから企画されながら、なかなか出来ませんでした。加賀市での会員懇談会が、今回始めて行われました。これは医療界の現状と将来への展望、協会活動の説明とこれに対する会員のご理解を得ること、情報交換により地区会員の実情を把握し、ご意見にそった活動をなすために行われています。

今回も協会活動、点数改訂の説明、一般開業医の悩み、協会活動に対する希望などが真剣に討議されて大変有意義でした。立派な会場が閉散としていて、温泉地をかかえる地方自治体の裕福さが感じられます。約三十年前在任した時に、山中町を除いて合併したばかりの加賀市とでは校医の待遇に相違があったことを思い出しました。おたがいに胸を開いて話し合い、時間をつきまらなかったが、住民に対する良い医療と会員の権利を守る活動を、さらに強めることの大切さをかみしめながら帰途につきました。(平松昌司)

持論

老人医療費削減の切札として登場した老人保健施設はいわゆる中間施設として位置付けられ、石川県にもすでに四カ所が認可、六十三年から六十四年以降にかけて十一カ所の設置要望が出されている。現在までに

有病者であり、一触即発の危険をはらんでいることはいままでの施設は、一カ月約二十一万円が計上されているが、この中にはもちろん、人件費、光熱費、

一般処置、皮膚科軟膏処置、導尿、膀胱洗浄、眼・耳処置、整形外科的処置、はては迷走神経麻酔から人工呼吸、非開胸的マッサージなど六種類の救急処置にいたるまで、要するに一般診療所

置、手術に対するまるめ報酬が一日三千円、連続三日を限度として月一回に限り算定出来るに過ぎない。

往診、通院にはさらに徹底的な制限が加えられ、みだりにすべからずの字句が堂々と挿入され、みだりに往診、通院を行った時には施設療養費の減額を含まれた罰則がはつきり文書化された。真面目な医療関係者の良心を踏みにじる表現に大きな憤りを覚えるのである。

このような施設内医療の強い排除姿勢は今後他の分野にもますますエスカレートしてくるであろう。医療・福祉の具体的な

老人保健施設にみる徹底的な医療排除

老人医療費削減の切札として登場した老人保健施設はいわゆる中間施設として、六十三年から六十四年以降にかけて十一カ所の設置要望が出されている。現在までに

有病者であり、一触即発の危険をはらんでいることはいままでの施設は、一カ月約二十一万円が計上されているが、この中にはもちろん、人件費、光熱費、

一般処置、皮膚科軟膏処置、導尿、膀胱洗浄、眼・耳処置、整形外科的処置、はては迷走神経麻酔から人工呼吸、非開胸的マッサージなど六種類の救急処置にいたるまで、要するに一般診療所

置、手術に対するまるめ報酬が一日三千円、連続三日を限度として月一回に限り算定出来るに過ぎない。

往診、通院にはさらに徹底的な制限が加えられ、みだりにすべからずの字句が堂々と挿入され、みだりに往診、通院を行った時には施設療養費の減額を含まれた罰則がはつきり文書化された。真面目な医療関係者の良心を踏みにじる表現に大きな憤りを覚えるのである。

このような施設内医療の強い排除姿勢は今後他の分野にもますますエスカレートしてくるであろう。医療・福祉の具体的な

入院から家庭復帰までの中間点として、入院医療が必要ではないとしても、大部分の老人は

食費などがすべて含まれ、医療に關しては大幅な特約化が導入された。すなわち、投薬、注射、一般検体検査、心電図など七種類の検査、創傷処置、洗腸、吸入

普通に行われている医療行為はすべて施設内では保険請求出来なくなっている。

一方、緊急時の施設療養費にしても、ショック、急性呼吸不全、昏睡の際の投薬、注射、処

置、手術に対するまるめ報酬が一日三千円、連続三日を限度として月一回に限り算定出来るに過ぎない。

このころが最近では、老健法、家庭医制、医療法改正、地域医療計画、中間施設といった次々に登場する難かしい問題に頭を悩ませている。

第4回北信越医療活動交流集会の報告

国民医療の指導的役割を自覚し、医療のあるべき姿を認識

六月二十六日、梅雨空の富山市で第四回北信越ブロック医療活動交流集会が開催された。日曜日にもかかわらず、地元富山県からはもちろん、福井県、新潟県、遠くは長野県からの参加者もあり、石川県からは歯科部を含めて八人が参加し、全体では四十三人が集まった。

主催した富山協会を代表して高野会長の開会の挨拶の後、保団連事務次長・大山正夫氏による基調講演「保団連のめざす医療活動」が行われた。「活動の評価は後から成される」と前置きした後、大山氏は「開業医をとりまく変化をどう見



北信越各県から43人、石川から8人が出席。
— 6月26日 富山市で開催 —

るか」「保団連の医療活動」について講演した。時の変遷とともに国民の医療に対するニーズも、医療をコントロールする法制度もどんどん変化している。この変化を早く察知し、方向転換を計ることが肝要との内容であった。

このあと「日常診療の工夫」のテーマで午前中に八人の発表があり、昼食前に「ドクター・セルフチェック」のための採血を行った。午後の演題に入る前に愛知協会製作のオトスライド「中間報告を斬る」が上映された。午後の演題六題の発表と紙上参加の六題の解説が終了したのは、予定の午後三時であった。今回の交流集会の演題数は紙上参加も含めると二十題と多く、特に歯科部からのものが六題もあり目立った。

特徴的な演題を挙げてみると、あらゆるスタッフを

当日、この交流集会に始めて参加された安藤良一先生から印象記が届きましたのでご紹介いたします。

◎◎◎ 医科歯科連携こそ 協会発展の キーポイント

六月二十六日、富山市で行われた今回の集会是演題も多岐で(演者十五人、文書報告五件)収獲があったが、時間不足で十分な質疑討論ができなかったのが残念である。来年は石川県が当番であるから、この点を工夫したら良いと思う。

富山協会会長挨拶での、いわゆる医師優遇税制の表現に対する反論運動の提唱と、非核平和都市宣言への

理事会点描

菊地理事の出席で 一同、ひと安心

六月二十一日(火)、午後七時半より本年度第三回理事会が十五人の理事出席のもとに開かれた。ご病氣療養のため休まれていた歯科部部長の菊地理事が久しぶりにご出席になり、そのお元気な様子に一同ひと安心というところでした。

毎回大幅に時間が超過し午後十一時近くになるので、報告事項は出来るだけ手短かにお願いし比較的スムーズに経過した。

また。大岡裁きのごとく一刀両断、これにて一件落着というわけには行

かないものかと、いつもながら苛立ちさえ覚える。税制改革の問題、消費税の是非に関しては協会の対応に至っては暗中模索の域を脱し得ず、何となく継続審議ということだけけりつけられたが、ただ医師優遇税制という実態のない言葉だけは何となくマスキングから抹消してほしいものだと思

(当番議長・細川)

メテイカル・セミナー 自民税調の骨子

木村経営ブレイク 木村光雄 税理士

今月は、相続税Q&Aを一時休止し、六十三年度税制改正の自民党税制調査会(自民税調)案の骨子についてお知らせしたいと思います。なお、この改正案は、自民党の税調の最終案であり、これから国会審議に諮られる段階ですので、確定したものではありません。

所得稅・住民稅	
一、稅率構造の簡素化。	五、一六%の七段階とする。
①所得稅は、一〇・二〇・三〇・四〇・五〇%の五段階とし、	二、所得控除引き上げ。基礎控除・配偶者控除・扶養控除をそれぞれ所得稅三十五万円(三十二万円)、住民稅三十万円(二十八万円)とし、配偶者特別控除を所得稅三十五万円(十六・五万円)、住民稅
②住民稅は、五・一〇・一五%の三段階(三、配偶者非課稅。最低八千円(四万円)
	四、養子などによる節稅策の規制。
	五、贈与稅の減稅。
◆問合せは、(〇七六二) 四四一九一三三代	

て、一体となって努力すべきであることを強調して共感を呼んだ。

富山協会歯科部の河合、小野氏の報告は立派であった。歯学についての知識に乏しい医師は、石川県でも、このような講演をぜひ聞くべきだと痛感し、富山協会をうらやましく思った。石川協会の平田氏が講演で述べられたように、医療アンケート、病診連携症例検討会、歯科医科連携

三十万円(十四万円)とする。

証券稅制 *有価証券譲渡益への原則課稅 株式なら譲渡益の二六%(住民稅含む)の申告分離売却額の一%の源泉分離売却一回ごとに選択する。

相続稅 一、課稅最低限の引き上げ。 配偶者と子供二人で六千四百万円(三千二百万円) 二、稅率構造の見直し。 最高稅率七〇%(七五%)で十三段階(十四段階) 三、配偶者非課稅。 最低八千円(四万円) 四、養子などによる節稅策の規制。 五、贈与稅の減稅。

◆問合せは、(〇七六二) 四四一九一三三代

(石川協会編集部 安藤良一)

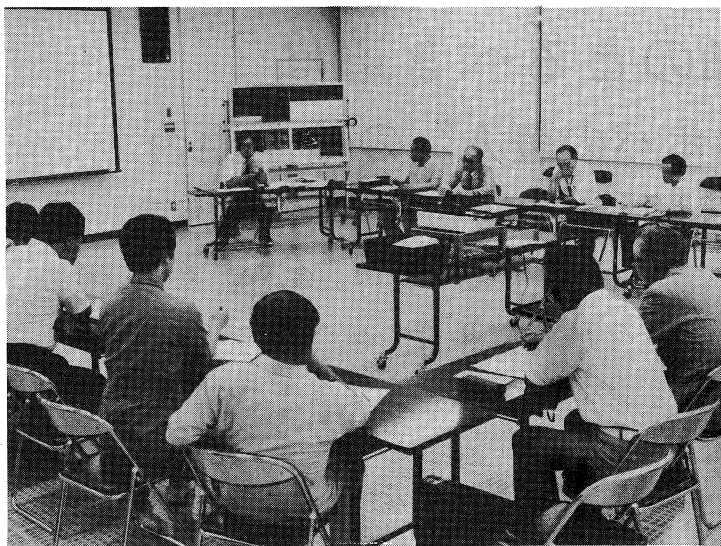
第六回病診連携のための症例検討会

六月二十九日、新装なった金沢市立病院で

内分泌学の最先端に触れる

保険医協会恒例の各病院持ち回りの症例検討会は、新装なった金沢市立病院にて六月二十九日、開催された。

今回の症例は、四十九歳男性で、入院四カ月前より一過性の意識障害、早朝うめき声を発するような症状出現、入院三日前より、覚醒困難、糖分摂取により回復する。入院当日は、朝より意識障害がにつき、午後緊急入院となったものである。病歴、入院時検査成績(血糖三六mg/dlなど)より、だれでもインスリンノーマなどインシュリン分泌腫



新装なった金沢市立病院の講堂で、第6回目の症例検討会。終了後、病院内の見学も行われた。

子グルカゴンが増加しているが、同時に、腫瘍細胞がインシュリンを分泌しているため、低血糖症状が前面にでていものと説明された。さらに、免疫電顕を駆使して病理学的検討もされ、Monoclonal Multihormonal Tumorとの概念で本疾患を捉えているとの説明をうけた。

今回のケースは、極めてまれな症例で、しかも明らかにケース・レポートを前に検査されているので、われわれ開業医にとっては「身近な疾患」とは言えず消化不良を起こしそうな感じであったが、反面、内分泌学の最先端にも少し触れたような、爽やかな感じを覚えたのは小生だけではないと思う。

情勢が変わってきたように感じる。金沢市内の某病院では開業医から紹介された症例については、月一度、その紹介医を招いて「結果報告C・C」を今年度より始められた。今回の市立病院の場合も、症例検討会終了後、新装になった病院の内見会が行われ、院長、内科部長自ら懇切丁寧に説明された。病院から、開業医への患者紹介のラプコールが、今にも聞こえてきそうな感じがする。

老人保健施設の本格的な開設がこの四月から実施され、石川県でもすでに二カ所(金沢・七尾)の施設が認可になり、四月には金沢の施設がオープンしている。老人保健施設は寝たきり老人を介護する特養老人ホームと老人病院の中間に位置づけられる施設で、入院治療の必要はないが、リハビリや看護などの対象となるような老人を介護する施設として一昨年末、老人保健法改正で創設が認められたものである。厚生省は六十二年度は八十カ所を認め、さらに六十三年度は百二十カ所の開設を認可する方針である。石川県では認可された二施設以外に設置要望の施設として南加賀地区で六十三年度に二施設、六十四年度に一施設、石川中央地区では六十三年度に四施設、六十四年度以降に三施設、北能登地区では六十四年度以降に一施設となっている。老人保健施設の一番の問題点は医療計画の中に含まれない。すなわち病床

詰碁(解答)
このまま白に生きはありませぬ。白が1と来ても黒2で白は生きられませぬ。流石に両対局者とも読切って居る。黒は他の好点に向かいました。
(野々市町・内科喜多徹)

増床と営利目的の開設には断固反対 —老健施設—

がカウントされないことである。現在、金沢市で六十四年度に設置計画が進められている施設は公的病院であり、病院に併設する場合には一般病床と老人保健施設との間の患者の移動が容易に予測される。昨年、松任市近郊で老人病院新設の問題が持ち上り、松任市医師会の反対で取り消されたが、また再び診療所併設の老人保健施設としての開設要望が出てきている。六十二年十二月に出された老人保健法などの一部を改正する法律の施行について(依命通知)の中の、開設許可の項には「都道府県知事は、営利を目的として老人保健施設を開設しようとする者に対しては許可を与えないことができる」としてある。老人保健施設という名をかりて事実上は増床ということにならないよう、また営利目的の開設に対しては絶対に反対しなければならぬ。(金沢市・内科)

良書紹介

保団連推選図書

アメリカが大変だ
エイズから麻薬、エホバの証人の無輸血手術まで、在米30年の米國診断

著者のDrヒロセは「国民医療総合対策本部中間報告」に対して「アメリカの二の舞になる」とその危険性を指摘している。本書は、著者の三十年間にわたるニューヨークでの医療活動の中から、アメリカが抱える医療問題を鋭く指摘したもので、アメリカの医療事情、日本における厚生省の「中間報告」方針をアメリカとの対比でみるには格好の書と言えます。



廣瀬輝夫著
日本医療企画K.K.発行
A5版 330ページ
定価 2,500円
会員特価 2,000円

※お電話で協会までお申し込み下さい。(076)(2)21-5373

第7回症例検討会 ご案内

●協力病院●

社会保険 鳴和総合病院

●とき●

9月3日(土) (予定)

●ところ●

鳴和総合病院内

詳しくは次号保険医新聞、または案内チラシにてお知らせします。

●お申し込み●

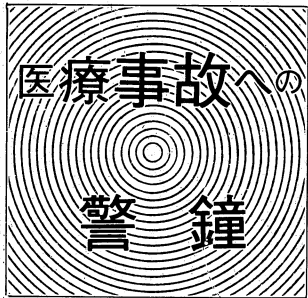
参加申し込みは、お電話にて保険医協会まで。

☎ (0762) 22-5373

医師のとるべき道は？ "エホバの証人"の輸血拒否

—饗庭忠男氏『エホバの証人信者の手術』の要約—

大石博司 (金沢市・産婦人科)



『医療事故の焦点・最近の判例理論の分析を中心として』

一冊 三、四〇〇円

※協会へお申し込み下さい。

☎(〇七六二)二二一五三七三

エホバの証人という宗教一派の信者が、患者として、治療は希望するが輸血は拒否する例があり、本人はもとより医師や患者の親類など関係者は苦しんでいる。この問題に関して、これまで医師の立場からみると、生命を救うために無理に輸血しても緊急避難行為として許されるのではないかと、輸血しないで患者を死亡させた場合に刑法での自殺関与罪(六カ月以上七年以下の懲役、または禁固)が適用されたり、民法での生命の侵害につき患者の親兄弟に賠償義務を負わされるのではないかなど、この考えが、あって明確な法的結論は出ていない状態であった。しかし、この問題について昭和六十年十二月二日、大分地裁が『エホバの証人』である成人の患者(病名：骨肉腫)の輸血拒否に対しその両親の申請(病院の輸血行為)を却下し、裁判所の考えを明らかにした。

治療か 信仰か

患者は左大腿骨の骨肉腫で大分医科大学整形外科に入院し、早急に左下肢を切

断しなければ転移のため生命を失う危険があるが、本人は『エホバの証人』の宗派の信者であって手術に必要な輸血を拒否している。これに対しその両親が「息子の自殺行為を排除し、その生命、健康を擁護する法律上の権利を有している」として処分申請をしたのである。これに対し大分地裁はつぎのように判断し申請を却下した。

(このように、本件においては債務者が真摯な宗教上の信念に基づいて輸血拒否をしており、その行為も単なる不作為行動に止まらぬうえ、債権者ら主張の前記被侵害利益が債権者の有する信教の自由や信仰に基づき医療に対してする真摯な要求を凌駕するほどの権利ないし利益であるとは考え難いことであり、その他叙上の本件輸血拒否行為の目的・手段・態様・被侵害利益の内容・強固などを総合考慮するとき、右輸血拒否行為が権利侵害として違法性を帯びるものと断じることとはできない。)

以上を要約すると、患者にとって輸血を強制されることは信仰の自由を侵される事に等しいと受け止められるであろうとして申請を却下したことになる。つまり、正常の人間が合理的理由によって医療のなかで他の説得の限界を越え自己決定権を主張する場合には医

師の方はやむをえず患者の自己決定権を尊重せざるを得ないということである。(以上は饗庭忠男氏の論文『エホバの証人信者の手術』臨床雑誌「外科」第四十九巻第十一号、を大石が要約したものである)



参加者の視線が大石先生(右)のたくみなカードさばぎに集中する。

食べ歩き

本格派インド料理の店

ルビーナ

金沢市幸町
電話(〇七六二)三二三五

エキゾチックな雰囲気
インド料理とマジックを満喫

加藤 溢子

六月十五日、インド料理「ルビーナ」にて会食。店内は小じんまりとしてカシミール絨毯が所狭しと飾られ、ローソクの明りにより一層エキゾチックな雰囲気。まずインドビールの

乾杯。やや軽い感じですが、インド料理によく合いました。料理はお国柄スパイスがきき、かしわを中心としたもので、一風変わった料理を食べるのもおつなものでした。焼きたてのナン(インドパン)を手でちぎり、直接野菜や切り肉を巻き込んで、インド風に食べながら、上流社会出身で五ヶ国語をあやつるといいう美人姉妹に、給仕してもらい、すっかりマハラジャ気分になっている時、ファンファーレと共に、大石先生のマジックショーが始まりました。新聞(英字新聞)にくい(ノ)の下に置いたガラスのコップを、上から叩いているうちに、突如とコップがなくなったり、言葉巧みなトランプのマジックで楽しいひと時を過しました。

保険医協会の会合には欠席ばかりしている先生も、食べ歩きだけはまた行きたくなるという企画のうまさで、エキゾチックな雰囲気あふれる一夜でした。では皆様またお会い致しましょう。

筆者は加藤整形外科医院の院長・加藤日出治先生の奥様です。

軽井沢セミナーのご案内 (主催 長野県保険医協会)

□□□□ テーマ 在宅歯科医療を考える □□□□

第1日目 8月20日(土) 午後6時～懇親会と歯科医療政策研究会

「歯科保険医療の今後について」の講演と討論

問題提起講演 松歯大教授 笠原浩先生

第2日目 8月21日(日) 午前9時～昼食はさみ午後3時頃まで

「在宅歯科医療を考える研究会」

座長 林春二先生(林歯科診療所・協会常任理事)

費用：フル日程(宿泊、懇談会、食事、資料代等込)2万～2万2千円程度

21日のみ=食事コーヒ-資料代等の各実費 2～3千円程度

会場：軽井沢駅より徒歩10分 「ホテル一万里」(宿泊は25名まで可能…但しこの時期と費用の関係から相部屋になります)

参加申し込み・問い合わせ先：☎0262-26-0086の長野県保険医協会へ

詳しくは案内チラシをご覧ください。

老後問題を考える懇談会

梶井幸代先生(北陸婦人問題研究所所長)

ヨーロッパの老人福祉を紹介

六月十一日、社会福祉会館にて、老後問題を考える懇談会が開かれた。これは毎年九月に開かれていた「老後問題を考える石川のつどい」の事前学習会として開催されたもので同つどいには当協会からも毎年運営に協力している。

懇談会では、北陸婦人問題研究所所長の梶井幸代さんが先頃、スウェーデン、西ドイツ、イギリスを訪問された印象「ヨーロッパの老人福祉を見て歩き」をお話ししていただいた。

この中で、ヨーロッパと日本の福祉施策の違いに

れられたところを紹介する。(1) 在宅福祉の考え方

在宅福祉といえは日本ではたいがい女性が介護に縛られているが、スウェーデンでは町全体を病院に見立て、一軒一軒の家を病室と考え、そこでベルが鳴れば看護婦とヘルパー二人が車に乗って飛んでいくというシステム。

(2) ヘルパーは専門職

スウェーデンではボランティアに介護をさせるという事は国家として恥ずかしいことで、それは専門職でなければおかしいと考えており、ボランティアのへ

(3) 老人ホームの所在地

その地区の中心に老人ホームがあり、日本の老人ホームと違って町のまんなかあるから、そこからいろいろな情報が入ってくるとヘルパーさんはすぐに飛んでいける。

(4) 老若親和の社会

日本のように年寄り若者との間が断絶していることは大変不幸なこと。スウェーデンの最初の印象が老若親和。老人と若い人が親しみ合って社会を作っていることである。

(5) 福祉は国家的な事業

スウェーデンの福祉というものは、長い間かけて作り上げた国家的な一大事業であり、日本のようにできるだけコストを安く福祉をあげるという思想とは裏腹に徹底している。

(6) 住宅政策

スウェーデンではマンションが売れ出されると国がそれを買い、一部分を老人のためにとっておき、家賃が払えない人には、国家が半分払っている。

(7) 有料老人ホームの費用

日本の有料老人ホームは

入るのに三千万円必要ですが、イギリスでは一千五百万円であり、元の家を売れば入れる金額であり、夫婦で快適な晩年を送れるという。

国民の政治的熱度

スウェーデンでは政治に対する意欲が女性の中にみ

本稿は、梶井幸代先生の講演「ヨーロッパの老人福祉を見て歩き」の要旨です。

第7回老後問題を考える石川のつどい 開催案内

主催 老後問題を考える石川のつどい 代表世話人 梶井幸代(北陸婦人問題研究所所長) 連絡先 石川県保険医協会 ☎(0762) 22-5373

テーマ どう根づかせるか 高齢者福祉

ーヨーロッパと日本を比較してー

高齢化社会をよくする女性の会(樋口恵子代表)のメンバー三十五人がこのほどスウェーデン、西ドイツ、イギリスを訪れ、高齢者の住宅や各種の福祉施設を視察しました。

とき 九月二十三日(祝) 午後一時~午後四時

ところ 石川県社会福祉会館 4階ホール

参加費 五〇〇円(資料代)

プログラム 受付 二二:三〇~二三:〇〇

第一部 シンポジウム 二三:〇〇~二四:三〇

第二部 特別報告と討論 二四:三〇~二六:〇〇

第一部 シンポジウム

テーマ どう根づかせるか 高齢者福祉

報告者 ジャーナリスト 小林 博氏

北陸婦人問題研究所所長 梶井幸代氏

司会者 金沢大学法学部教授 井上英夫氏

第二部 特別報告と討論

①お年寄りの暮らしと生きがい

②老後の居住条件を考える

③老人医療の変遷について

入るのに三千万円必要ですが、イギリスでは一千五百万円であり、元の家を売れば入れる金額であり、夫婦で快適な晩年を送れるという。

国民の政治的熱度

スウェーデンでは政治に対する意欲が女性の中にみ

なっています。女が一生懸命にならないと福祉は守れないため、国家をいかに

ばらしい政治なんだといわ

使って便利医療グッズ

四月、五月は学校検診の季節ですが、一番困るのは長時間聴診するためイヤピースでしめつけられて耳が痛くなることで、片方を外して代わるがわる聴診したりして苦労していると思います。

推薦者 藤田 士郎 (金沢市・内科)

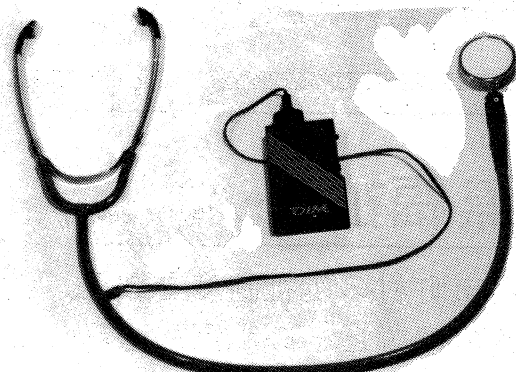
通常売価: 63,000円

会員特価: 58,000円



定価 ¥78,000 (セット)

今回、電子聴診器「けんしんくん」を富木医療器から借りて使用してみました。小型アンプで心音を増幅して聞こえにくい音でも大きく聞こえ、イヤピースは平らで小さく、耳も圧迫されることがなく大変楽に検診が出来ました。



富木医療器株式会社

☎(0762) 37-5555

お申し込み お問い合わせ

わが町の
医療福祉を語る

第16回

古墳と九谷の町

寺井町を訪ねて

福祉課のみなさんにインタビュー



寺井町福祉課のみなさん。左から太田課長と惣川さん、山川さん、本田さんの3人の保健婦さん。

本号は日本を代表する伝統工芸九谷焼と和田山・末寺山古墳群で知られる寺井町を訪れました。取材に応じていただいたのは福祉課の太田郁朗課長、保健婦の惣川多恵子、山川美鶴、本田真弓さんです。

八月にオープン
クア・ハウス九谷

九谷焼の本場として有名な寺井町ですが、家内工業が多く、販売主体で給付職人も四百人ほどで、就労人口はあまり多くありません。そのため量産は出来ませんが、流派を越えて、昭和五十年に美術作家協会が結成され、毎年、展示会を開く

イメージを押し出すようにしています。クアハウスを建てるきっかけは昭和六十年八月に良質の温泉を掘り当てたことです。地下八百メートルより常温五十二度、毎分四五〇リットルの温泉が湧き出ています。八月六日にオープンしますので一度来てみてください。

福祉事業推進
チームが定着

寺井町の福祉事業として特筆出来るのは、民生委員

(二十一人)、老人福祉連絡員(二十人)、健康づくり推進員(三十四人)、つくし会会員(食生活改善講座修了者八十人)と行政との連携が大変良いことです。住民と行政とのパイプ役として、民生委員はじめ皆さんが自発的に活動されていることが、福祉制度や介護用品の利用、保健事業の推進に大きな影響を持っています。おかげで保健婦の仕事も大変やりやすくなっています。

5年前から
訪問看護を
制度化

寺井町では昭和五十八年から県内でも先駆的に、寝たきり患者のための訪問看護制度を実施してきました。以前から町内の病院が退院患者にボランティアで訪問看護を行っており、町として制度化してほしいとの要望が出され、住民にとって必要な施策であり、町の事業として制度化したものです。



モダンな老人福祉センター「亀齡荘」

絵付従事者の
健康診査も

一般検診の受診率を上げるために個別通知はもちろんのこと、健康づくり推進

ではすべて保健請求となりました。また寺井町では老人福祉センター「亀齡荘」に併設して一日五百円の負担で介護サービスを受けられる「託老所」(県単独事業)を設けています。ただ、老人福祉センターの入館料が二百円と安い上に温泉を引いたお風呂の評判も良く、一日百五十人の利用者がありますが、託老所は現在のところ登録は三人だけです。今後、在宅患者が増えると託老所利用も徐々に増えると思えます。

寺井町の独特の検診として「絵付従事者の健康診査」があります。絵の具の素は鉛で、その粉末がホコリに混じって体内に入ると貧血や神経障害など鉛中毒になる危険性があります。このため町では五十五年九月より「絵付従事者の健康診査」を始め、換気扇の設置や手洗いの励行など職場改善もすすめて、随分効果を上げています。

行政主導型はよくない。むしろ行政は民生委員はじめボランティアの皆さんの自主的な活動をどう組織し、援助していくのかに力を注ぐことが大切と述べられていた。また、今年四月に他町から寺井町に転任された本田保健婦は「寺井町は住

経営対策講演会のご案内

テーマ 税制改革と今後の病医院経営
講師 木村経営ブレン 木村光雄 税理士
とき 8月27日(土) 午後6時半～9時
ところ 金沢都ホテル 5F「能登の間」
参加費 会員の医療機関 無料 保険医協会会員外 5千円
◎お申し込みはお電話で保険医協会まで ☎(0762) 22-5373

1988年度版
石川県病院マップ

さらに見やすく使いやすくなった改訂版

8月中旬発刊予定

全会員に無料でお送りします。

初版
石川県福祉マップ (仮称)

県内市町村の福祉制度を網羅。制度の解説とその利用法を詳しく解説した開業医必携の手引書。

10月下旬発刊予定

全会員に無料でお送りします。

保険医
協会の
出版案内

取材後記△
太田課長は福祉の推進に

民の健康づくりに対する意識が高く、行政とパイプ役の皆さんが自発的に活動されていることに感心しています。ここに寺井町の年輪を感じます」と述べられていたことが印象的でした。(保険医協会取材班)

医療福祉をささげる方

15

MSW (メディカル・ソーシャル・ワーカー)

医療ソーシャルワーカー(略称MSW)は文字通りこのコーナーにふさわしい職種です。取材に応じていただいたのは辰口芳珠記念病院がオープンした昭和五十八年六月から医療相談室に勤務されている宮岸潤子さんと今年四月に勤務されたばかりの小俣富美さんです。



辰口芳珠記念病院のMSW。宮岸さん(左)と小俣さん。

社会資源の有効利用を援助

「まず宮岸さんからMSWの仕事の概要についてお話ください。」
MSWとは患者さんが疾病などによって引き起こされる障害への不安、それに伴う身障者手帳や障害年金などの福祉制度の活用などの援助、施設入所や転院などの援助、家族間のトラブル解消など、いわゆる社会資源を有効に使うって援助することです。その際、大切な

「このような仕事を選ばれた動機は何でしょうか。」
私は以前、東京の総合病院医事課で生活保護を担当しており、月に百五十枚余りの生保のレセプトを見ながら患者の生活の断面を見ていました。その後、突然病院のワーカーが退職した

ため、生活保護担当の私にその仕事が回ってきたわけです。そのときは無我無中で研修会、通信講座などで勉強したものです。その後、結婚を境に十年ほどブランクがありました。縁あってこの病院にワーカーとして勤めたわけです。私が入りました昭和五十八年には金沢医科大学病院、能登総合病院、リハビリテーション加賀八幡温泉病院、岡部病院などにワーカーが入職しており、皆同期生です。県内にはワーカーが四十人ほどいます。皆さん福祉系の大学を卒業されていますが、現場から出てきたワーカーは私ぐらいでしょうね。

「医療相談室で実際に担当されている仕事について説明して貰えませんか。」
まず、老人の方の退院相談がたくさんあります。本人は退院を希望されても家族に介護力がないケースが多く、町の保健婦と連携して対処するようにしています。また、入院時面接を看護婦と一緒にしています。社会的入院の場合、「もう家には帰れない」という患者さんもいます。この場合には、退院後のことも想定しなければなりません。そのほか、特定疾患患者の書類作成の援助、特別養護老人ホーム入所者が受診された場合の諸々の連絡、学校検診や施設検診のほか、医師への講演依頼もワーカーが窓口となって調整しています。

「開業医の先生もワーカーの利用を」
ワーカーの皆さんは実にたくさん仕事を担当されていることに感心しました。ところで「社会資源」の活用では私たち保険医協会でも「老人の医療福祉一〇番」を設けています。老人性痴呆や入院の相談が主ですが、相談者が社会資源をほとんど知らない、知らされていないことがよく分かります。もっと行政からのPRを強めてほしいと思いますね。

「このような場合、開業医の先生からもワーカーのいます。」
検診活動でぜひ紹介しておきたいことがあります。辰口町では五十九年から三歳児検診の際に眼の検査を実施しています。これは学齢期になってから弱視が発見されるケースがあり、当院眼科の中馬先生が早期発見のために三歳児検診のときに眼の検査の必要性を指摘され、病院から町に働きかけた結果、取り入れられたものです。最近では松任保健所管内でもモデル事業として実施され、全国的にも広まっており、とてもうれしく思います。

「取材班後記」
今年四月から芳珠記念病院に勤務した小俣さんは大先輩で岩手県内村や岐阜県上矢作村の地域調査を通じて健康づくりを柱とした地域のネットワークづくりを学び、その実践者として地域に関わっていきたくて大きな希望を抱いている。そしていまは、宮岸さんのもとでワーカーの仕事を通じていろいろなることを知っていくことが楽しみ、と素直に語れる世代である。

先輩の宮岸さんはこのように小俣さんに対し、彼女の今の感性を大切に、仕事を離れたところでも人間として豊かに育ってほしいと願っている。病院内で二人は、ほとんど親子といわれているそうだが、宮岸さんも若い人に誘われてテニスを始めるなど、若がえったみたいでいいですよ(笑い)、と微笑まれた。

(保険医協会取材班)

開業医の先生もワーカーの利用を

「開業医の先生もワーカーの利用を」
病院内に気軽に相談されることをおすすめます。私たちは病院のワーカーですが、外からの相談も割とあるんですよ。私もほかの病院に出張相談したこともあり、自宅に訪ねておいでの方もあります。このような仕事をしている人間が病院の中にいることをもっと知ってほしいですね。

「保険医協会では今年十月をメドに開業医のための福祉制度のガイドブック「石川県福祉マップ」の作成をすすめています。医療社

1988年度 保険医協会

ゴルフ大会

●と き 9月23日(祝) AM 8時6分スタート

●ところ 金沢ゴルフクラブ

●参加費 3,000円 (プレー代は各自負担)

※お申し込みは 保険医協会まで ☎ (0762) 22-5373



ゴルフとスキーで1年中真黒ですよ……と白い歯が印象的な深尾先生。

おねおね

(40)

深尾哲久

先生の巻

深尾歯科医院院長

七尾市府中町八部28の1

この仕事を 選んで良かった

今月は久しぶりに歯科の先生にご登場頂きました。七尾市で開業されて九年、ゴルフとスキーが趣味とおっしゃる深尾哲久先生をご紹介します。

— 今日はお忙しいところお時間を頂きましてありがとうございます。

お昼はゆっくりと時間がありませんから、なんなりと質問してください。

— 最初に先生が歯科医になられた動機からお話頂きますか。

私は七尾生まれの七尾育ちで、大学は外に出てもちょうど帰ってくるつもりでしたし、何かここで出来る仕事を、ということで歯科医を選んだんです。

良い仕事をすれば患者さんに喜んでもらえるということとで、この仕事をして良かったと思っています。

— 歯科の先生は経営的にも、良い治療をするうえで、一日何人ぐらいの患者数が適当なんですか。

そうですね、私は三十人、四十人が丁度いいと思います。一時間に四、五人というところじゃないでしょうか。六十人を越えようと、どうしても回転を早くさせることだけに頭を使って、思い通りの治療というのは出来なくなってしまうんですね。

— 先生のところはスタッフは何人おいでですか。

今は三人です。

— スタッフの定着はいかがですか。

うちはいいんですよ。結婚して、あるいは子供が出来たから続けられなくなるといった理由でやめられた人が数人いただけで、今のスタッフがそれぞれ九年、八年、六年ですから、もうみんなベテランです。

— それは先生のところがよく魅力があるということですか。

いえ、私は時間の問題だと思っています。やはり女性が家事をしながら仕事をするということは大変なことですし、帰り時間がいつもばらばらというのでは困ると思うんです。ですからよほど忙しいときは別としても、一応決まった時間に帰って頂くようにしているのが長く勤めて頂いている原因になってると思います。もう教えなくても私のやり方をちゃんと理解してくれていますから、たいへんありがたいと思っています。

歯科・医科が一堂に集まる 企画が欲しい

— 先生のモットーはなんですか。

スタッフに対しては「清潔に、主訴をしっかりと聞き、笑顔で大切に」ということをいつも言っています。自分自身としては、これからの医療サービスは量から質の時代になっていくというところから、患者さんに対して本当に良い治療を行うという心掛けています。

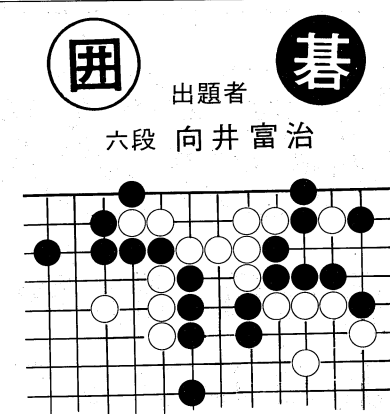
— 開業されて、よかったですね。

そうですね。忙しいという苦労を除けば、経営的な心配というのはいなかったです。今では考えられないことですが私が開業したところでも、すでに四十人を越える患者さんがおいででしたし、それから段々と増えて開業五年目ではピークで六十人から八十人ペーソで診ていました。このときはさすがに疲れしましたね。しかし自分の思い通りに仕事が出来るといふこと、

グループ保険 ご加入の皆様へ

今年度 配当予想

45.47%



〔問題〕 篠田晤六段と鳥居方策四段の対局に現われました。黒番です。上辺の白はこのまま死でしょうか。黒が一手入れる必要があるでしょうか。

(解答は3面)

事務局お盆休みのご案内

お盆休みのため、事務局が左記のとおり休務します。ご了承下さい。

《休務期間》

八月十五日(月)～八月十七日(水)

女房の以津子と長女・祥子(八歳)、長男・哲大(五歳)の四人です。

— 家族サービスはちゃんとなさっていますか。

— 今日はどうもお忙しい年一回は家族で旅行に行きますし、ゴルフへ行かない日は、なるべく近くですが、出かけるようにして

— 最後に、ご家族をご紹介頂けますか。

— 最後に、ご家族をご紹介頂けますか。

(保険医協会取材班)